

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2013年 1 月号

会長：飯田隆一

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

《 1 月 の 山 行 計 画 》

No. 2, 974 狭山丘陵の軽便鉄道跡を歩く <C> L 中神琳枝

二つの三角点と軽便鉄道跡そして村山郷の龍の入不動尊へ初参りの新年会を楽しみましょう。おでんなど暖かいもので。

1月6日(日) 8:27 池袋発準急小手指行=9:03 西所沢 9:14 (狭山線)=9:20 西武球場前 9:30 歩き出し-15分山口観音-15分あかまい橋-5分狭山富士-50分かぶと橋-20分富士塚-5分5号トンネル跡-20分1号横田トンネル-1時間野山北公園カタクリの湯

歩程：3時間10分+2時間30分……5時間40分 15:10カタクリの湯バス停に着く。

地図：2.5万図“所沢”

費用：約1,000円

申し込み：1月4日(金)までに葉書又は電話でリーダーへ。

備考：Lの都合により日延べの場合がありますのでご承知おき下さい。

No. 2, 975 用井沢三角点峰から水仙ロード <C> L 阪本弘二

長狭街道川崎橋から日向畑集落に入り昔からの道を歩き水仙ロードに出て水仙の品定めをしながら保田駅に戻ります。

1月13日(日) 7:45 千葉発館山行=9:31 保田 10:00 (町営バス)=10:15 川崎橋 10:20 歩き出し-30分日向畑集落巡視路上り口-1時間用井沢三角点峰-20分鶴ヶ峰八幡神社-30分水仙広場-40分保田

歩程：3時間+1時間30分……4時間30分 14:50 保田駅に着く。

地図：2.5万図“保田、金束”

費用：約4,500円

申し込み：1月11日（金）までにハガキ、TEL、FAXでリーダーへ。

No. 2, 976 ゲレンデスキー嬢恋

L 飯田隆一

1月16日（火）7：52 東京発長野新幹線「あさま507号」＝9：13 軽井沢9：30 発送迎バス＝11：00 嬢恋 チェックイン後、更衣室で着替えてゲレンデへ。半日滑降。宿泊は「パルコール嬢恋リゾートホテル」〒377-1611 群馬県吾妻郡嬢恋村千俣バラキ高原（TEL 0279-96-1166） Fax0279-96-1139

1月17日（水）一日スキーを楽しみ16：30 ホテル発のバスで軽井沢駅へ。

費用：約28,000円

申し込み：12月31日（月）までに葉書、電話、FAXでリーダーへ。

備考：ホテルはリフト券が滞在中付きます。食事は全てバイキング、部屋はスタンダードツインルームに3名、デラックスツインルームに4名と狭いですがご了承下さい。尚、当日は学生の団体が入っているので混雑します。Lは大宮から乗車します。

**No. 2, 977 今熊山から天合ノ峰 **

L 高橋輝男

1月20日（日）7：23 立川発武蔵五日市行＝7：52 武蔵五日市 8：00 歩き出し－40分 広徳寺－20分 金剛滝分岐－1時間 今熊山－15分 523m－50分 404m－30分 林道－20分 345m－1時間 戸沢峠－40分 天合ノ峰（300m）－15分 金比羅山（274m）－30分 影沢

歩程：6時間20分＋1時間40分……8時間 16：00 影沢バス停に着く。

地図：2.5万円 “五日市、拝島”

費用：約2,000円

申し込み：1月18日（金）までに葉書、電話（午後7時～8時）でリーダーへ。

備考：新ハイ664号参照（地図読みをして参加をお願いします。）

《 山 行 報 告 》

No. 2, 954 北海道 支笏湖周辺の山 < B >

パーティ：吉原、北原、菊地、阪本、持田、佐近、石田、飯島／石川、阪本、松井、L佐藤(ツ) 計12名

9月29日(土) 曇。夜遅く宿に到着する2名を除いた10名で宿にチェックイン後、直ぐ本日予定の紋別岳に向かう。頂上迄全て舗装道路。頂上には大きなパラボラアンテナがあり、支笏湖を眼下に明日以降登山予定の恵庭岳、樽前山などが近くに見え、まさに展望の山と言えます。三角点の傍でゆっくり眺望を楽しもうと腰を下しましたが、北国では低山と言えども湖からの風が冷たく寒くて長居は出来ず早々に引き上げ、宿で温泉に入ってのんびりする。本州に台風17号接近とか、明日以降の天気が気になる。

歩き出し12：40－紋別岳14：30～45－登山口16：00

9月30日(日) 雨後曇。台風接近のため、夜通し雨が降り続き本日は登山を中止する。昼前雨が止んだので昼食を兼ねて支笏湖周辺を散策する。木々が多く、小高い所もあったり、ナナカマドが色ずき始めていたりしてそれなりに楽しめた。特筆すべきは、宿ではニコリともしないオーナーが、経営する軽食喫茶店では、不可思議なキャラクターを発揮し、客をその世界に引き込み笑わせることでした・・・

10月1日(月) 曇。雨が止むのを待って登山口へ宿の車を出して貰う。樽前山登山口(八合目)には立派な山小屋(今は宿泊出来ない)やトイレが建っている。歩き易い整備された道を登り、50分程で稜線に出ると強風が吹き荒れ、立っているのもやっと・・・と云う状態で一気に寒さも感じ、少し稜線から斜面に戻り、雨具などの防寒着を着用し、ストックで躰を支えながら樽前山の三角点迄行って早々に下山する。とても風不死岳へ縦走出来る状況ではない。台風の余波とは言え残念。稜線上からはドームの噴煙、恵庭岳などが見え、支笏湖も眼下に美しい!! シラタマの白い実が残っており、手に採って潰すとサロメチールの香りがした。参加者の内3名は帰京した。天気が悪く遠い所迄来たのにお気の毒でした。昨日到着の遅かった2名は下山後紋別岳へ、他は自由散策。

歩き出し9：15－稜線10：05－樽前山10：15～20－登山口10：50

10月2日(火) 晴。今日は天気快復。皆さんと相談の上恵庭岳登山と決める。宿の車で登山口へ。樹林帯を抜け第1展望と呼ばれる7合目は露岩状になっており、左に噴煙を見る。紅葉も始まっており、休憩に良い場所だが帰路ゆっくりすることにして先へ進む。第2展望(8.5合目)が現在恵庭岳の頂上とされており(こ

の先は崩壊のため登山禁止) 頂上の標識もある。展望に優れ、眼下に支笏湖やオコタンペ湖のブルー、紋別岳などが一望出来る。第1展望台に戻って景色を見ながらゆっくり昼食タイムをした。最終日になってやっと青空の下で登山出来た。自然力とは言え参加者の皆さんに万全の登山遂行が出来なかった事申し訳なく思っています。

歩き出し 7:20—第1展望 9:15~20—第2展望 10:00~15—第1展望 10:40~11:10—登山口 12:55 (佐藤(ツ) 記)

No. 2, 955 八間山と白砂山 < B >

パーティ：石田、木原/阪本、L飯田 計4名

10月13日(土)曇。とんでもない間違いを指摘されたのは長野原駅から乗ったタクシーの運転手からだった。なんと野反湖と野尻湖を間違えて野尻湖の宿を予約していた。慌てて野尻湖の宿をキャンセルし、野反湖のバンガローを予約した。出発一日前に1泊2食の宿に変更したと参加者に連絡したので誰も食料も炊事用具も持っていない。スーパーで食料を買い野反湖ビジターセンターに行き買った食料を下ろした。八間山はやめ三壁山に変更した。12:55歩き出し。水場を通り三壁山に近づくときれいな野反湖、そして白砂山、佐武流山と見え、山に来た幸せを感じた。急登が終わると気持ちの良い尾根歩きとなった。次の高沢山からは西に長く志賀高原熊の湯方面までの道が延びていた。エビ山で弁天山方面の道を分け野反湖に下る。ナナカマド、ウルシ、楓の紅葉がキレイであった。全山紅葉も良いが緑の中に赤、黄、橙色がポツポツと有るのも風情があって良い。テント場にはイベントの為、群馬県の高校生が数十のテントを張っておしゃべりをしたり、トランプをしたりしていた。湖畔の4人用バンガローは家族連れや若者のグループかなり泊まっていた。

湖畔 12:55—水場 13:20—三壁山 (1,974m) 14:10~20—高沢山 14:50—エビ山 15:25~35—バンガロー 16:30

10月14日(日)昨夜19:00頃から降り出した雨は一晩中音を立てていた。4:30に起き朝食をとっている時、又雨が降り出した。雨は止んだが外を見ると黒い雲が空一面を覆っている。今日は白砂山を諦めバスで帰ることにした。バスを待つ間少し歩くことにして地蔵峠を往復した。再度ここに来ることを固く心に誓って帰宅の途についた。

バンガロー 9:30—バス停 9:40—地蔵峠 10:40—バス停 11:10 (飯田 記)

No. 2, 956 尾出山 < B >

パーティ：河野、佐近、村田／阪本、見目、L新井田 計6名

10月13日(土)晴。落倉橋(計画では落合橋と誤記)を予定より遅れ10:35歩き出し、橋を渡り暗い砂利道を沢の右岸に沿って、500m程で二俣に分かれ古い石柱があり左に入るが道が荒れ気味。湿気が多くヒルに取り付かれ、又踏み跡等も薄くなり地形図で方向定め尾根に取付き塩沢峠～不動岳の稜線に出る。10分で首の欠けた地蔵が祀られている峠に。塩沢峠～尾出峠(地形図は嶽ノ越)は稜線上を出来るだけ外さず歩く。尾出山の往復は露岩の急斜面あり苦勞する。

木浦原への下りは作業道と踏み跡を利用し地形図と見比べながらだったが現在地確定できず、できるだけ緩やかな尾根を選び古い作業道の通る沢に出た。壊れた堰堤あり、2回程対岸に渡り舗装された道路に出、車が待つ木浦原に。

歩き出し10:35-塩沢峠11:50-鉄塔13:30-尾出峠14:15-尾出山14:40-尾出峠15:00木浦原17:15 (新井田 記)

No. 2, 957 下町散歩とグルメ深川めし < C >

パーティ：大島、菊地、古屋、河野、佐藤(美)／石川、大塚、虹、L畑石 計9名

10月14日(日)東大島駅からすぐの中川船番所資料館で学芸員から旧中川、小名木川、荒川が徳川時代には水運による物流の拠点であったと聞かされる。現在中州はスーパー堤防に造成され団地が立ち並んでいる。この旧中川と隅田川を東西一直線につなぐ小名木川は両岸に遊歩道が整備され、川面を眺めながらのんびりと歩く。時折雨粒が落ちてきたが歩くのには良い陽気だった。クローバー橋から先は市街地歩き、東京のパナマ運河と言われる扇橋閘門は昭和51年竣工で現在もその機能を果たしている珍しい存在だ。のんびりしすぎていささか疲れが出てきたところでやっと“割烹みやこ”にたどり着き、待望の深川めしを賞味する。

東大島駅9:30-中川船番所資料館9:45~10:30-荒川ロックゲイト11:00-塩なめ地蔵-大島稻荷-クローバー橋12:00-扇橋閘門13:00-割烹みやこ13:30~14:20-芭蕉記念館14:30-清澄庭園15:00~30 解散。(畑石記)

No. 2, 958 行道山から名草巨石群 < B >

パーティ：大島、菊地、石井、堅田、山田(広)、村田、南出／大村、L高橋(輝) 計9名

10月20日(土)晴。タクシーで行道山浄因寺下へ。関東ふれあいの道に入り、

小さな寝釈迦を見てから行道山山頂にて山名盤でしばしの山座同定。関東ふれあいの道と別れバリエーションルートに入る。高度差 80mの垂直に近い下降で予想以上に時間経過、傾斜が緩やかになって行道峠で踏み跡の交差を確認、地図を見て先行きが思いやられた。ひと登りで関東ふれあいの道に合流。歩きやすさを実感する。丸太階段の登り下りを繰り返しながら三角点のある 387mに着き「やっと半分だね。あと半分長いねー」と嘆息。それからアップダウンが続き、へとへとになりながら巖島神社の参道に下りる。名草巨石群への坂道は最後のノルマ?? キツイキツイ。

浄因寺下 9 : 35—寝釈迦 10 : 10—行道山 10 : 30—40—行道峠 11 : 20—馬打峠 11 : 50—食事 12 : 10—30—387m 13 : 05—藤坂峠 14 : 10—426m 15 : 00—名草巨石群 15 : 40—弁天鳥居 16 : 00 タクシーで足利市駅へ。(高橋(輝) 記)

No. 2, 959 岩殿山 < C >

パーティ : 荒、佐藤(美) / 佐藤(正)、L河野 計4名

10月21日(日) 快晴。大月駅で下車し、桂川の高月橋を渡って車道を登り岩殿山の登山道に入りコンクリートの階段を登る。途中に眺めの良い所があり、富士山が雪をかぶってとても綺麗でした。頂上までは階段が続きました。眺めを楽しみながら休憩。少しもどって稚児落としへ向かう。2回鎖場があった。日陰で昼食と思ったが先客ありで、岩の上でゆっくり休憩し昼食。心地良い風が上がってきていて気持ちが良い。林道まではアツと言う間に着く。車道を1時間程歩いて大月駅着

歩き出し 8 : 50—岩殿山 9 : 45—50—天神山 11 : 00—稚児落とし 11 : 30—12 : 00 (昼食)—林道 12 : 30—大月駅 13 : 25 (解散) (河野 記)

No. 2, 960 鼻曲山—剣ノ峰 < B >

パーティ : 佐藤(ツ)、菊地、阪本、荒、持田 / 見目、L阪本 計7名

10月27日(土) 雨。長日向 10 : 00 歩き出し。雨の降るなか別荘地からゆるやかな林道から紅葉をながめながら歩き上の林道に出る。ここから登山道になり標高 1,600m附近で昼食タイム(11:30~11:45)にする。寒いので昼食も早めにすまして歩き出し 12 : 00 鼻曲山に着く。雨と霧で展望はなく立ち休みをして鼻曲峠に向かう。登山道は雨水で土砂が流失して歩きにくく、樹林帯の登り下りを繰り返しモミジの木はあるがまだ紅葉には早かった。十六曲峠分岐に着いたが雨の為剣ノ峰はカット。相変わらず歩きにくい道を下り 14 : 00 今宵の宿、霧積温泉金湯館に着く。今日一日雨がやむ事はなかった。

長日向 10:00 歩き出し-11:00 林道-12:00 鼻曲山-12:20 鼻曲峠-13:20 十六曲峠-14:00 霧積温泉金湯館

10月28日(日) 雨。天候不良の為山行は中止。9:00 発宿の送迎車で横川駅へ。解散。10:00 発のバスで軽井沢へ行き散策をして帰る。宿は親切で大変感じの良い宿でした。(阪本 記)

《 お 知 ら せ 》

☆ <<12月の山行計画追加>>

No. 2,973 栗の木洞～鍋割山 L 山田広子

12月22日(土) 6:18 新宿発小田急急行小田原行=6:54 町田=7:37 新松田7:55 発バス寄行=8:20 寄 8:30 歩き出し-1時間45分栗の木洞-20分後沢乗越-1時間10分鍋割山-40分後沢乗越-30分二俣-1時間20分大倉バス停

歩程: 5時間45分+1時間15分……7時間 15:30 大倉バス停着。バスで渋沢駅へ。

地図: 昭文社“丹沢”

費用: 約2,300円

申し込み: 12月20日(木)までに電話、FAXでリーダーへ。

備考: 懐中電灯必携。Lは町田より乗車します。

☆ 12月22日(土)は2つの計画が重なるのでNO. 2,972 矢ノ音～吉野山<C>を12月24日(月・祭)に変更します。

☆ 2月の山行予告

2月24日(日) 丹沢 頭高山(まつだ桜まつり) <C> L高橋輝男

☆ 会山行に参加が少ない方々へ

お目にかかる事が少ないのですが、いかがお暮らしですか? 最近はあまり山には登っていないのでしょうか? しかし以前登った時見た景色や達成感、満足

感、爽快感、そして快い疲労感は心に残っているのではないのでしょうか。思い切って参加してみませんか。お待ちしております。

☆ 山行に参加する方へ

我々中高年は加齢とともに足が遅くなるし、又、寒さにも弱くなります。登山には雨具、懐中電灯は必ず持参して下さい。雨が降っていなくても雨具を着るとかなり寒さが防げます。事故を防ぐためにぜひ守って下さい。またリーダーに付いていくのではなく自分でもあらかじめコースを調べる事が大切です。

☆ 1月の役員会は1月10日（水）代々木区民会館 18：30～20：30です。

☆ 2月の山行計画及び山行報告を11月30日（金）までに飯田まで提出して下さい。